

# 報告書抄録

ふりがな	せんずいやま・ふじやついせきだいはちじゅうにちてんはつかつちようさほうこくしょ							
書名	泉水山・富士谷遺跡第82地点発掘調査報告書							
副書名								
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第34集							
編著者名	照林敏郎・林 邦雄							
編集機関	朝霞市教育委員会(文化財課)							
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2-7-22				TEL048-463-2927			
発行年月日	西暦2010年(平成22年)11月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
せんずいやま・ふじやつ 泉水山・富士谷 遺跡 だいちてん 第82地点	さいたまけんあさかし 埼玉県朝霞市 せんずい ちようめ 泉水三丁目 16-1	11027	008-020	35度 48分 39秒	139度 34分 52秒	2010年 9月13日 ～ 9月23日	398.15	小学校 改築
所収遺跡名		種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
泉水山・富士谷遺跡 第82地点		集落跡	縄文時代	なし	縄文土器 石器	中期後葉加曽利EⅢ式 土器及び打製石斧。		
			平安時代	なし	土師器 須恵器	内面に同心円の叩き具 痕を持つ須恵器甕。		
			近世	溝4条 ピット6基 小ピット約220基	陶器	瀬戸・美濃系の徳利及び 皿。近世の土地区画溝と 推定される柵列を伴う 溝。		
			近・現代	なし	鉄製品 銭貨	鉄製品は用途不明。 銭貨は銭銘不明。		
要約		泉水山・富士谷遺跡は朝霞市を代表する大規模複合遺跡として知られており、これまでに行われた合計81地点にのぼる発掘調査によって旧石器時代から近世の各時期に至る豊富な遺構・遺物が確認されている。今回、調査が実施された第82地点は本遺跡の北西端に位置しており、隣接する第81地点では縄文時代早期前葉を中心とする堅穴状遺構や土坑群が検出され、奈良時代の住居跡や近世の土地区画溝と推定される4条の溝が確認されている。第82地点では第81地点で検出された溝の北側延長部及び今回新たに1条の溝が検出された。いずれも近世の土地区画溝と推定されるが、このうち第4号溝は内部に柵列や小ピット列を伴い、他の溝より規模も大きいことから、その性格が注目される。						